京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜録

漢城より

十月七日　熊浦邊人

▲午前八時の前後、日々吾が寓居の前を打連れて通る二人の女あり、一人は五十左右、一人は十七八、其の容貌の相似たるタシカに親子なるべし。

▲老いたるは、羽織りたる紺の筒袖の前を合せたる上より前垂れを掛け、脚絆に草鞋の打扮、手蔽したる右手は二つの春を重ね之れを一端に釣して引擔げる擔棒の他の一端にかゝれり、市に出すべく菜園に野菜を採りに行くと見ゑたり。

▲若きは、光澤無き紺の羽織、桔梗色カシメヤの袴を胸高に着て、右手にはメリンスの大きやかなる包を抱ね、左手は蝙蝠傘を提げたり、多分は電話交換手なるべし。

▲吾等は此の親子の打扮をば最と面白き對照ぞと思ふなり、虚榮心强かるべき妙齡の娘子が、草鞋脚絆の母親と肩を並べて賑かなる市街を行く、心に誇を感ずべきか。

▲わが生める娘が羽織着て、袴穿て役所通ひ、其身は老ひたる今も尚ほ隴畝の間を離れ得である母親は、心に誇を感ぜざるべきか。

▲斯くの如く、脚絆の母は袴の娘を育て、田舍の娘は都會の女と成り、鎌の代りに筆を執り、以て親も子も誇り且つ樂しむ、是れ豈女の事ならんや、男は尚更都會の人と成るを喜ぶ、斯の如くにして都會は賑ひ田舍は寂れ行也。

▲田舍の寂れ行くは心細し、然れども必ずしも悲觀すべきことにはあらず、文明は田舍を都會に仕立つるもの也、今や物質的に精神的に文明の力の田舍を都會に仕立てつゝあるは吾人の知る處也、這も亦人類進化の程に横はることなれば心細くとも止を得ずとす可。

▲或は曰ふ、朝鮮人に美術工藝品の製作を敎へんは尚早し、先づ以て繩を綯ひ叺を織ることを奬勵すべしと、吾等は聞て何の意やら之を解するに苦しむ

▲朝鮮人にも古來貴族の家あり、商工の家あり、吾等は、彼等が各自其の家業に出精すべく敎ゑ且つ勵ます可らずや

▲同じ說者は民を治めんとせば先づ其の歴史を安協せよと云ひしが、吾等は彼が果して朝鮮人の歴史と安協を遂げしやを疑ふ、而して更に人類進化の方向を示せる處の歴史と安協を試みしやを怪しむ。

▲假し彼の說、單に其の急不急を道はんとするの意なりとするも、吾等は與する能はざる也、或は又努力の分量を指すものなりとするも吾等は其の闘るべき所以を見ざる也、何となれば二者共に急なるは云ふ迄も無きのみならず力の分量と雖も物の廣狹に依て指頭を加ふると掌を加ふるとの差はあらんも二者共に全力を注ぐべきものなれば也

▲吾等は殊に都會の賑が増して田舍の寂れ行くよ、否な文明の力と人類蕃殖の理法とが總ての田舍をも都會に仕立ていは止まざらんとする世界の大勢を餘儀無しとし、草鞋脚袢の母が袴の娘を携ふるを不可とせざると同一の理由を以て繩も叺も作らしむべし、美術品も同時に製作せしむべし、何れも努力の發揮にして朝鮮人に衣食の資を與ふるの途たりと爲すもの也、說者以て如何と爲す。

雜報

朝鮮の甛菜糖

（宮尾拓殖局部長談）

甛菜糖は獨逸を最とし歐洲大陸中巴爾幹諸邦を除く外は殆んど之れが栽培を見ざる事なき盛況を呈し今や優に甘蔗糖を壓倒するに至らんとすれど右は全く制度の賜にして同糖が直ちに經濟上製造業上優者に比して優秀なるものとは斷じ難きもの々如し一例を示せば獨逸等に於ては甛菜糖製造税は之を一定の地面に賦課する事となり居れば一般生産者は相競うて上質にして收穫の夥多なるものを栽培するも標準以上の生産額に對して其の脫税を公認し且つ輸入甘蔗糖に對しては關税を高課し甛菜糖の輸出に際しては輸出補助金を附與する等凡ゆる手段と方法とを講して人爲的に其の發達を保護せる結果同糖は遂に今日の聲價を博するに至れりと雖も之を自由競爭に一任せば經濟上製造工業上同糖は到底甘蔗糖の敵にあらざるを發見すべし然かも前記諸國が同糖に對し斯くの如き極端なる保護を加へて平然たる所以は彼の諸國は世界第一の砂糖消費地たるに拘はらず其の需用は從來悉く輸入品を仰げる狀態に在りたる結果にして本邦の如く臺灣と稱する砂糖生産の寶庫を有する國に於て之を行ふは到底其の可なる所以を見ずされば朝鮮には同糖の生産大に有望なるべしとの說あれども雨量の少なき一事稍々好望なるも地球の緯度、地味其他の點より觀察して果して爾かく好望なるや否やを知らず況んや同糖に對し歐國同樣極端なる保護を與ふるが如き殆んど不可能の事なるべく又斯くの如き朝鮮本位の政策は國家の大局より打算し其の當を得べきか否やは猶ほ研究の餘地あらん云々

●府民合併困難事情

新官制發布に際し從來の居留民團及び漢城府民とは等しく京城府の下に施政を受くることゝなり民團は當分其儘に存置すべしとの訓令ありたるが道に於ける新政施行上多少復雜を免れざるより當局間に於ては事務取扱上に屢々議合併問題に花を咲かすこと珍らしからず然れども府民合併問題たるや現在の朝鮮人をして日本に同化せしめ日本民團と併立し得る程の進化を見るに至らざれば不可能なるを以て此處二三年間は到底其實施を見る能はざるのみか或は今後十年後も經過するに非ざれば困難なるべしと當局者は語れり

●敎科書改訂の範圍

今後朝鮮人學校に使用さるべき敎科書は目下當局に於て考案中なるが其內容に就き某當局の語る處を聞くに敎科書は國民敎育の根本なるを以て新附民の子弟に對する敎育も亦之れに伴はざるべからず即ち今後根本より改訂すべきものと認められつゝあるは國語讀本及び修身書の二科目にして其他數學物理習字地理歷史等に關しては著るしき改訂なく唯書中の字句に多少の改訂あるのみならんと

●朝鮮分析所の近況

南大門通り四丁目朝鮮分析所は去月十六日の創立にかゝり未だ一ヶ月に充たざれど其成績見るべく既に金二十貫目代入萬圓餘の分析買收を爲し大坂造幣局に送致したるよしなるが昨今は農業收穫の折柄とて地方は何れも此方面に忙殺され居るより隨つて金塊の出廻り甚だ鮮きか不遠又た盛況を見るべし尚は京城に於ける金は忠淸、黃海、京畿の三道及び江原道の一地方の產出にして稀れには平安產出のものもあれど這は極めて僅少なりと分析所にては初め肉眼にて見當を附け全價格の五割五分以上の前金を相渡し分析後殘額を支拂ひ買收し居るが技術には專ら谷田技師是れを擔任し事務其他は朝鮮人側の設立とて何れも朝鮮人執務し居れり

●新刊紹介

▲滿韓之實業　五十八號十月一日發行（京城大和町二同協會二十五錢）
▲東京經濟雜誌　一五六二號十月一日發行（東京々橋區彌左衛門町七同社十二錢）
▲斯民家庭　十號十月一日發行（東京神田一ツ橋二二報德會十五錢）
▲實業之世界　十九號十月一日發行（東京芝區三島町二同社十二錢）
▲東京金物新報　一九七號十月一日發行（東京淺草西鳥越町二同社五錢）

講談

大岡政談 越後傳吉

第九十四回　旭堂南陵講

甚「エヽうれでは甚右衛門申上げます　甚「ナニ　三「イヤ乃公がマアいふから　二人「乃公がいふから　乃公がいふから

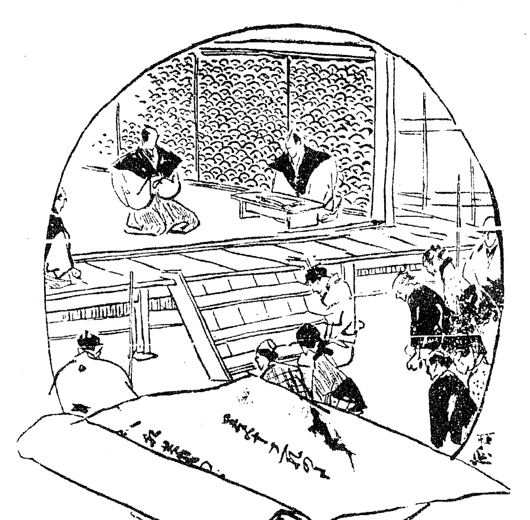
越「コレ〳〵　其方等兩名何方でも宜いから……　三「申上げます、ハイ三右衛門申上げます乃公ね先刻からマアジツと聽てやしたが庄左衛門のいふことは皆噓言でがす、一ツとして眞言なことはねヽでがす、エ、何でがす、庄左衛門が名主退役をしまして、庄藏が探偵を退役いたしましたのはそれは傳吉旦那の不在のあひだにれ早とれ梅とハア二人で庄藏と庄左衛門と親子同士四人の者が密通をやつて詐欺泥棒を働きよつたのでがすハア、それでマア小旦那が五十兩の金子を遣て二人の者を庄左衛門庄藏に遣つたでがす、ハア其事については詳しく申上げますチヤンと證據がムいますから」とこれより兩名が前々に詳しく述べました、傳吉從兄弟の彌藤次と名前を僞はつて金を騙つた一條から、庄左衛門の一件をズーツと二人が申述べる、越前殿逐一聽てれいで遊ばす　三「エヽそれにはハア動かねる證據があるのでがす、此處に御座ります中村屋與兵衛樣が持てます、書附と取つどけといつたものですから五十兩貰ふた書附がチヤンと書てあるでがす、必らずハア持て御座るに違わねでがす　越「與兵衛、其方庄左衛門庄藏よりの書た物を持參いたしたか」そりやア中村屋與兵衛のことだ脫りがございません　與「所持いたして居ります　越「此所へ……」直ぐに差出した書附をば讀み上げる

差入れ申す一札の事

一、私共親子の者傳吉殿不在中れ早れ梅と不義の廉有之既に大事にも相成るべきところ貴殿方御兩人のれ世話に依て無事に治まり其上れ早れ梅の兩人金五十兩相添へ傳吉殿より私等に下され此段有難く存じ奉り候後日の爲差入れ申す一札依而如件

甚右衛門殿
三右衛門殿

庄左衛門
庄藏



越前殿ズーツと御覽に相成まして　越「庄左衛門　庄「ハツ　越「何うぢや　庄「ハヽツ流石の鈍れ早も互ひに顏と顏とを見合た此所へ來ると確かに眞て取られたものに違ひない、これを斯う陳ずれば又先方で斯らいひ出されると、いよ〳〵惡事の破綻只青くなつて夫婦の者がブル〳〵顫へてゐる　三「それからまだ申上げます、ハイ私等ア默つて聽とりやしたが、夫婦でねへ證據には庄藏とれ梅といひますが、この甚右衛門と二人屍骸を見に行つたでやすあの時にれ檢屍が上りました、私等アマア村役人のことだから立會ひましたが、何うも庄藏れ梅の屍骸と思へましねだへイ第一女御ちうのがエラア大きな女でございます、れ梅ちう阿魔ッ女は小柄な女でございます、小さな女でございますそれにエラア大きうございましたそれから男といふのも庄藏も餘り大きくねへ方でがすが男も大きい野郎で、第一庄藏はホンの柔弱な身體でがすが、此奴ア雲助でもしたといふやうな甚しい毛だらけの身體でな、腕に登龍の文身がございました、庄藏の身體に文身なぞはありやアしません、是等が早や間違つとりますでな、それから女の方の腕にも文身がございました　越「庄左衛門、甚右衛門三右衛門の申立て何うぢや　庄「ハイ申上げます、全く庄藏に違ひございません　甚「ソレ噓言でがす、其時分に私等ア立會ふて見てあるでがす、登龍の文身がありました、そんなものは庄藏にねへでがす　庄「それはマアその庄藏が大方若氣の至り惡戯に文身でもいたしたことぢやらうと心得ますので……　越「其方等兩名立會つたとあれば女の腕の文身は何ういふものぢや分つてるか　三「ソレ分つとりますだ右の方の腕でございまして金印いのちといたしてございました　甚「ソレ私いチヤンと見てあるでがすから　越「何うぢや、早……　早「ハイ、アノうれはさういふこともいたして居るでもございませう、その以前鴻の巣に居る時分に金藏とか申す者と梅が交情になりまして、大方その者の名前でも繡入れたものでございませう、手厳しく異見をして手は切りましたが、妾には隱して居りましたが、さういふ文身でもいたしたものと思はれます

京城新報

日鮮人大懇親會

附觀光團の歡迎

愈々本日を以て京城府民大懇親會が景福宮内に開催される、此の府民大懇親會は即ち日鮮人の大懇親會だ、遠くして深き因緣を有せる內地人と朝鮮人とが天命に順ふて一家を成し、相互に將來を祝福し、以て我が至仁なる　陛下の大御心に副ひ奉らんことを誓はんとするのである、余輩は京城の人士が、時も時たり秋高く氣爽かなるの好季節莊麗なる景福宮裡に懽會の如何に樂しかるべきかを思ひやるのである。

顧れば併合行ばれてより既に四旬、半島の天地は極めて靜平である、曾ては屢々耳にしたる地方の匪徒すら併合後は全く鎭靜に歸した、人民は堵に安んじ各業を勵んで居る、是れ我が　陛下の御稜威に由るは申すも畏し、大命を奉じて半島統治の任に膺れる總督以下の施政宜しきを得たる結果なるは云ふ迄も無けれども、抑も亦不思議の力ありて事を此に運び、內地人と半島人とを結合し、共に喜び倶に樂ましむるものあるが爲めではあるまいか、否余輩は不思議の力の存在を確信する、蓋し帝國は或使命を帶びて坤輿上に興り、日東に位置する、不思議の力は帝國の使命を成しめんとする、人は不思議の力に由て欽明思文の志を賦與せられた、帝國の使命は人の欽明思文の志に合する、されば此の力は朝鮮に於る使命を果すべく我に命じた、於此乎併合は行はれたのである、人曷んぞ喜むで而して樂しまざらんやだ。

人喜むで而して樂しむ、半島の靜平なるは勿論其の處だ、而かも官は正に其喜びと其の樂しみとを廣大ならしめ、且つ永久ならしめんが爲めに精勵しつゝあるのだ、其の內地人たると半島人たるを問はず、一視同仁唯夫れ幸福ならしめんことを計り、其の足らざるを廣れつゝあるのだ、世界に國と國との合併されたる例は甚だ多い、併しながら其本國民と被合併國民との上に一視同仁の政を布ける例、果して有りや否や、斯る例或は之れ有らん、然れども本國民が被併合國民と共に一視同仁の政を喜び且つ樂しむの例、果して幾許有りとするぞ、余輩は今日の大會が與に欽明思文の人の志に適へるの擧たるを信じ、不思議の力の余輩を此處に導けるを欣び信ずるものである。

余輩は今回の懇親會に依て、初めて日鮮人の親善を來たすものとは思はぬ、唯親善の表示である、否親善の增進を圖るの意あるのみだ、既に親善にして一層親善の增進を計るの意があるとすれば、やがて最も親善の增進したるものと認むることが出來る、イザさらば日鮮人は共に相勵まして不思議の力が導く處に努力し欽明思文の志を成就し半島をして帝國の大陸に於ける誇りある領土たらしむべきだ、余輩は今日の大會に對して此の希望を繫けるものである。

加之偶々內地より觀光團の來城せるあり、懇親會場に招待して府民が歡迎の意を表すことゝなつた、府民は半島に着眼せる內地人の臨場を深く歡ぶので有る、團員も亦日鮮人親睦の狀を目睹するを得て大に意を安ずるであらう、やがて亦時を異にして半島開發の一助を誘引するものと信ずる、余輩は叙上の外尚此會の盛大に行はれんことを希望する多くの理由を有する。

東京電報

▲英皇帝の即位式 來年六月二十一日英國皇帝陛下御即位式には列國何れも主權者若くは勅使を參列せらるゝ筈にて我皇室よりも最高位にある皇族を御差遣あるべきも英國民は我皇太子殿下の御來遊を熱望しつゝあり(八日)

▲葡國大革命續報 葡萄牙皇帝は身を以て宮城より避難されしも未だに行衛不明なり內親王は皇太后と倶に英國軍艦に搭じ渡英せらる各皇族は何れも無事

▲共和政を布けり 葡國 革命黨はテオキールツラガを大統領に宣言しパーナヂオメカドを外務大臣に推し共和政を布けり

▲葡國公使の歸國 葡國 革命に就き霞ヶ關には何等の公報達し居らざるやに傳ふれど駐日葡國公使センダル氏が葡國の途に就けるより推せば事態は容易ならざるを察すべし(同上)

▲明年度の豫定線 鐵道院に於ては明年度より新線の敷設に着手する筈なるが山陰西線今市より岩國萩を經て周防に達する延長線豐後上大分より佐伯、延岡を經て宮崎に入る九州東海岸線大分より竹田を經て熊本に通ずる豐肥線、越前敦賀より大原を經て舞鶴に達する若鶴線高松より德島に達する線等は明年度豫算編入は六ケ敷かるべしと(同上)

▲士官候補生と朝鮮 來年度召集の士官候補生は各師團管區に於て撰拔試驗を執行する筈なるが朝鮮に於ても京城、平壤、咸興の三箇所にて試驗を行ふ事と內定せり(同上)

東京電報

▲葡國皇后の避難 葡國 皇帝太后皇儲を乘せたる皇室用ヨットはジブラルタルに安着す(同上)

▲葡國公安の保障 葡國 新大統領は列强に向つて公安保障を

▲地方軍隊の進軍 葡國 地方駐屯軍は援助の爲めリスボンに進軍しつゝあり(同上)

桑港電報

▲爆藥携帶の支那人 洵貝勒の乘船池洋丸內に多量の彈藥を携帶せる一支那人あるを發見し洵貝勒暗殺の嫌疑者として捕縛せり(八日)

▲蠶種の統一問題 農商務當局の博士技師等の研究調查を重ねたる結果は先程蠶業法を脫稿し目下同省參事官會議に於て審議中なるが終結の上は法制局に回附し來期議會に提出する筈なるが同法には原蠶種の事並に現行蠶病豫防法全部に改正を加へ其他蠶種同業組合の件を規定し條項は五十餘條の長きに亘れるものなりといふ(同上)

▲氣球大隊の移轉 陸軍 氣球大隊は今回埼玉縣入間郡所澤村に移轉する事に內定し目下陸軍省豫算に計上せるが氣球格納庫は來年度に於て該地に二個所を建築の筈なり(同上)

▲農工銀行の大會 全國農工銀行大會は來る二十一日より日本勸業銀行に於て向ふ一週間開催さるゝ豫定なり(同上)

▲生產調查會總會 來る十一月一日第一回總會を開き第一回諮問案を確定し尙ほ工場法案を諮問案として提出すべし(同上)

▲橫濱の新停車場 鐵道院と橫濱市民との間に懸案中なりし停車場問題は愈々昨日交涉纏り現橫濱神奈川兩驛の中間に建設する事となり竣工後は舊停車場は閉鎖する筈なりと

▲下關市長の就任 下の關市長白上俊次氏の後任として推薦せし候補者元全羅南道書記官小林重威氏は市長就任の裁可を經たり(同上)

北京電報

▲淸國政府の老猾 奉天交涉使韓國鈞が屢に地方官憲に對し今後朝鮮人に土地貸附若くは耕作雇入をするを禁ずる旨達したるに就て北京政府は例の老猾手段により右は交涉使一個の考へにて政府には未だ一定の方針さへ決し居らざる狀態なれば毫も關知する所に非ずと白を切り居れり(八日)

府民大懇親會彙報

屢々報導したる如く京城府民大懇親會は愈九日午後二時景福宮內に於て擧行す順序其他左の如し

▲入場門 一般會員は景福宮左側の城壁に沿ひ『秋成門』より入場し觀光團員は光化門より入場、但し車場置場は秋成門內とす

▲式場 秋成門より一直線に隆文堂前面の大廣場とす

▲摸擬店 廣場の周圍及び隆文堂の後方山上等にあり

▲演藝場 摸擬店の各所に點在

▲來賓者 來賓の重なるものは山縣政務總監、各部長官、各局長官、軍司令官、師團長、軍參謀長、總督府武官、朝鮮貴族、京城府尹、各銀行會社總裁其他五十餘名なり

▲會員數 朝鮮人側約二千五百名內地人側約三千名の申込ありしが八日夕迄には尙ほ以上申込ありたる筈なり

▲寄附者 軍司令官大久保大將より金二百圓を寄附せられたる外韓國銀行、東拓會社、日韓瓦斯電氣會社、東亞煙草販賣部、三井物產、三越吳服店、京城起業會社、日韓殖產會社、土佐紙合資會社、京城新報社

▲注意 當日は一切入場券を交付せず來賓以下夫々附屬使丁に至る迄受付に於て徽章を交付する筈にて徽章佩用なきものは警察官又は係員より退場を命せらるゝことあるべし徽章の色別左の如し

赤色(一般會員)白色(來賓)桃色(委員總代)綠色(委員事務員)黃色(觀光團案內者)

▲警戒 水門洞警察分署にては保護の爲め嚴重なる取締を爲す筈

▲餘興寄附 左の通り寄附あり 朝鮮綱渡り(青木堂)朝鮮古代の音樂(國陽俱樂部)藝妓の手踊(淸水席)此外有志の寄附として朝鮮田植踊り、鮮童、妓生等各種舞踊、藝妓手踊、煙火百五發

▲順序 大懇親會順序左の如し 一、來賓着席午後二時二十分(爆竹合圖)一、一同式場へ集合午後二時半 一、開會の辭委員總代 一、來賓演說 一、君が代軍樂隊 一、一同萬歲唱和 一、摸擬店開始(爆竹合圖)一、餘興手踊、煙火 午後二時より五時迄 一、隨意退散

▲觀光團 鐵道院中部管理局主催朝鮮觀光團百三名は九日午前六時六分南大門驛着入京(煙火合圖)午後二時慶會樓に於て歡迎會を開き主客の挨拶あり夫れより宮殿の裏手の府民大懇親會場に臨み午後五時思ひ〳〵に散會する筈

朝鮮棉花會社設立

(發起人は紡績業者)

日本耐火煉瓦會社長濱本義顯氏は朝鮮に棉花會社を起さんと奔走中の由なるが今聞く所に依れば發起人は全部紡績關係者にして其重なる人々は前記濱本氏を始め東京の日比谷、和田、佐久間、田村氏等なるが濱本氏は棉花栽培は國家的事業なれば政府に於ても相當の補助を與ふるの必要ありと爲し道路の開設鐵道の敷設官有荒蕪地の拂下等會社の設立に充分の便宜を得るのみならず一定期間は年々相當の補助金を受けんことを懇願せる意味の建白書を拓殖省總裁、副總裁、農商務大臣、朝鮮總督へ宛て夫れ〳〵提出し政府の意嚮確定したる曉には資本金を二千萬圓となし最初三十萬町步位を開拓して栽培に從事する由なり

●新任兩局長の着任 新任總督府學務局長關屋貞三郞氏及び……十分南大門驛着列車にて入京したるが名停車場に出迎へたるが兩局長は直ちに總督邸に伺候して着任の申告をなし……警夜は內部深尾書記官、隈本學務課長、小田編輯課長、武藤事務官、新保通譯官其他官立學校長學監等之れを永登浦に迎へ……後天眞樓に投宿せり尙は小原地方局長は家族同伴なれども官舍未だ何れとも決定せずと

●能勢長官の出發 能勢全羅南道長官は七日夜南大門發列車にて出發せり

總督邸王妃招宴

總督令夫人は八日正午李王妃殿下を龍山の總督新官邸に招待し午餐を供し後小園遊會を開き妃殿下には女官元提調掌侍嚴淳同副白完圭掌宮金石源洪采喜及乳母韓德淳李昌善吳鼎善等隨行陪宴し主人側は總督夫人令孃兒玉伯夫人並に其他十數名の夫人御款待申上げ最と御滿足に思召され午後三時頃御歸宮遊ばされたり

合併後の產業振興策(五)

東洋拓殖會社理事 井上孝藏君談

貴紙連載の產業振興策は私も讀むで居ますが、諸士の所說は何れも肯綮に中て居る、各々自家の立場よりして攻究せられた處であつて、固より間違の有らう筈がない、デ私の意見を問はるれば亦私の立場よりして攻究したる處を陳べたい、抑も產業振興策といふもの併合の前と後とに於て差異無きは勿論のことながら、此が世人に一種の感想を與へ、人心に一新時代を劃するに至つたのは事實だ、因て此の機會を逸せずして產業の振作を圖るは策の最も得たるものと思はる、サテ其の振作を圖るに就て最も必要なるは、朝鮮人をして最も有效に働かしめることだ、而かも斯くするには單に督勵するばかりでは不可、先づ以て彼等に實物敎育を施し指導誘掖せねばならぬ、即ち彼等が樂むで勤勞するやう、惰氣に閉おられたる心を啓發せねばならぬ、實物敎育は朝鮮開發の第一捷徑だと信ずる、之に就て私は數多の適切なる實例を有する、其の一二を擧ぐれば德うだ、

私は朝鮮の內地を廻はつて見たが、朝鮮人に對する種々の忠告や指導を爲す人は頗ぶる多い、然かも其の實際に行はれて居るものは忠告や指導の僅少の部分のみだ、之れは口頭ばかりでは朝鮮人を十分に啓發して朝鮮の開發を遂ぐることは困難であるといふことを敎ふるのです、尤も、口頭の指導も强ちに無用の業として斥くべきものでは無いが、實際に例を示して之れに倣へよといふに如かぬのである、例へば同等同積の土地を內地人と朝鮮人とに小作をさせるとして、內地人は善き種子と良き農具を用ゐる、肥料を入れる、隨て收穫が多い、朝鮮人は在來のまゝの耕作をする隨て收穫が寡い、然るに小作料は二者共に同額を納むる、之れを見たる朝鮮人は羨しく思ふのだらう種子や農具を改良し肥料を用ゐることになる、私は斯る例を目擊しました、又朝鮮には養蠶が適するといふことは私の屢々耳にする處だが一向盛んにならぬ、然るに或觀察使の夫人が養蠶を試みた處が、之れを聞き傳へたる地位有る人の夫人令孃が四方より見に來た而して內房を出て被衣を脫いで桑の葉を摘むことになつた、途に附近の地方は養蠶が盛んになつた、これも私の目擊した處だ、如斯實物敎育は朝鮮婦人の固陋なる舊慣をすら打破する力があるのです、況んや產業上の效果を收むるなどは寧ろ容易なことでせう。

今や前述の如く產業振興の好時機である、殊に四方靜平なれば移民を地方に入れるにも些の憂慮を要せぬ、去れば今に於て移民を各道各郡に點々配置し實物敎育を爲すべき位置に立たしめるならば內地人は固より優秀なる地步を占むべく、之れに接近せる朝鮮人は實物敎育を受け換言すれば見傚見眞似で生產を殖す、隨て國が富む、內地人は又其他の內地人を誘引する、斯くして內地人が適當に分布されたならば、朝鮮の開發は期して待つべきであらう、故に私は今日に於ける產業振興策として純良なる中以下の農民を移住せしむるを以て最急務と信ずる云々。

●南大門郵便局統計 南大門郵便局九月分取扱金高左の如し

受の部	口數	金額
爲替	一〇六八	二五四六、五〇〇
取立金	一三三	四一七、一五五
貯金	八二一	四〇七四、二二二
振替貯金	一八四	四一五九、八四七
歲入	一六七	二一八八、七六一
國庫金	一四〇	一〇七、八三〇
拂の部	口數	金額
爲替	五六一	九一〇六、六九〇
取立金	一七九	一九七〇、九四五
貯金	一三〇	三三七〇、三五三
振替貯金	四	一四〇、〇〇〇
歲出	五	八六四、二九〇

●李伯昌德宮に伺候 七日特に朝鮮貴族に列せられ敍爵の榮を賜はりたる人々は滿面の喜悅を以て之を拜し孰れも歸宅せしが伯爵李完用氏は子爵趙重應氏及男爵韓昌洙氏を伴ひ總督官邸より直に昌德宮に伺候し李王殿下に謁見新貴族一同を代表して敍爵の御沙汰を拜したる旨言上せる旨太王殿下に謁見他の貴族を代表して敍爵の挨拶を言上せりと

●電車停留場の設置 日韓瓦斯電氣株式會社の電車は從來停留場の設置なかりし爲め何れの場所よりも乘車するも勝手たりしが會社に於ては今般停留所を設けんとして警務總監部へ出願したるを以て同衙に於ては目下各署の意見を徵し其位置調查中なり

●仁川會議所役員會 仁川日本人商業會議所にては十日午後一時より役員會を開き左の件を協議し同時に調查委員會を開く由
一、地方農況視察員派遣の件

●寺內總督と觀光團 寺內總督は九日入京すべき朝鮮觀光團に午餐の饗をなすと

●蜂須賀式部官出發 蜂須賀式部官は七日午後十時四十分南大門發列車にて新橋へ向け出發したり

●景福宮觀覽の停止 九日は景福宮內に於て府民大懇親會開催に付一般の觀覽を停止すると云ふ

●忠南道長官出發 忠淸南道長官朴重陽氏は八日午前九時南大門發の列車にて新任地公州に向つて出發したり

●米參事官の出發 米國大使館附參事官スカイラー氏夫妻は八日午前九時南大門發列車にて新橋へ向け出發せり

●川上道長官出發 川上平安北道長官は八日任地義州へ向け出發したり

公人私人

▲岡田時太郞(滿鐵技師) 七日馬山へ
▲上林敬次郞(專賣局長) 同日開城へ
▲鈴木隆(忠淸北道長官) 同濟州へ
▲井原外助(電氣技師) 七日入京天眞樓
▲中島眞雄(盛京時報社主) 同上浦尾
▲橋本重敏(元遞信事務官) 同巴城館へ

▲京城手形交換高

十月	金高	枚數
八日	九四、一二〇、二七	四三六

▲大阪期米電報

後場(七日) 十月限寄十五圓二十五錢▲十一月限寄十五圓九錢▲十二月限寄十五圓十錢
前場(八日) 十月限寄十五圓二十錢止二十四錢▲十一月限寄十五圓一錢止三錢▲十二月限寄十五圓十錢止六錢
後場(八日) 十月限寄十五圓二十五錢▲十一月限寄十五圓三錢▲十二月限寄十五圓十二錢

▲仁川米豆取引所

後場(七日) 十一月一節八圓六十七錢▲二節▲出來高一方二百五十石▲十二月一節八圓六十八錢六錢五錢七錢六錢五錢▲二節六十五錢六錢五錢▲三節六十七錢八錢九錢▲出來高一方三千七百石
前場(八日) 十一月一節なし▲二節八圓六十八錢▲出來高百石▲十二月一節八圓七十三錢二錢一錢七十錢▲二節七十錢▲三節七十錢▲出來高一方千七百五十石

▲仁川港の出入船舶

福州丸 九日大阪より入港
香椎丸 同 大連より入港
日高丸 九日午前八時芝罘へ向出發
福州丸 同 正午鎭南浦へ向出港

▲京龍兩驛の貨客

南大門驛乘降客 七日の分如左
乘車客 八一一 下車客 七七五
下車賃金 二三八九、四三

▲南大門荷物扱高 七日の分如左
發送 八二屯 到着 三三二屯
發送賃金 五七〇、八三

▲龍山驛の乘降客 七日の分如左
乘車客 二八三 下車客 二三一
乘車賃金 四四八、二〇

▲龍山驛荷物扱高 七日の分如左
發送 八二屯 到着 三三二屯
發送賃金 五七〇、八三

▲治外法權▼

朝鮮總督府は長州人のみで固めて居ると內地の新聞は書いて居る、ナル程寺內總督山縣政務總監共に萩長藩出身の人だ、併し二人者が長州人だからと云つて總督府を長州人で固めて居るとは云へまい▲伊藤一世統監曾禰二世統監之亦萩長藩の出身者だ、ソレに今の寺內總督、山縣總監が長人だから世人は長人が朝鮮の事を勝手にして居る樣に思ふ、併し事實と記者の見る所とは必ずしもサウ非ずだ▲露骨に云へば長人たる伊藤曾禰が道行コソ遂ふが手の附けられぬ樣にシタ後へ尻拭に來たのが今の寺內將軍だ、此尻拭は損な役廻りで若しシクヂッたら大事になるのだ、此大役を外に廻したつて誰れが引受けるか、長人の尻を長人が拭ふ素より當然の事だ▲尤も桂侯の如きは長人でありながら已に已に長人の範圍を脫し、今では日本大否なソレよりも世界大の經世家となつて居る、寺內總督亦た而りと思ふ▲何ぞ朝鮮の事位を專賣にせんとの意わらんやだ▲ナル程石塚の準薩人たる以外に薩人を評者曰く總督府幹部に薩人なしと、そめぬ樣だ、併し薩人が居ぬからと云つて、まづ第一に大久保軍司令官は靜岡の人だ、次に總督の股肱と目さるる明石少將は福岡の人だ、倉富司法は福岡、小松內務は千葉、荒井度支は東京、宇佐美內務は山形、有吉總務は京都、國分人事の對州、斯く列記すれば總督府が決して長人專有でないことが判らふ▲小宮元宮內府次官が李王家の世話方になるとの噂がある、之は王家をして有終の美を濟させる爲め責任上同人が引受るが當然の事だ▲此頃市中にゴム輪の人力が大分殖へた、トコロへ今度一歩進んで馬車屋が出來る、併し街路は依然として凸凹だ▲內地の新聞では其筋が京城の民間新聞をミンナ買潰した樣に云つて居る、併し事實は正反對で、各新聞社が時世の變に堪まらず、各自滅したのだ▲御用紙を德富が引受けたことはドウでも良い、併し彼が京日は總督府の所有物であつて今後損得構はずに發行するのだなどゝコケ威しに子供らしい放言をしたのは餘りに不謹愼だ▲一體世界のドコに新聞紙發行を營業とする政府があるか、德富にしてカの放言を取消さゞれば議會の問題となるよ。

東京電報

▲葡國皇帝の避難 葡國
皇帝太后皇儲を乗せたる皇室用ヨットはジブラルタルに安着す（同上）

▲葡國公安の保障 葡國
新大統領は列強に向つて公安保障を宣告したり（同上）

▲地方軍隊の進軍 葡國
地方駐屯軍は援助の爲めリスボンに進軍しつゝあり（同上）

香港電報

▲彈藥携帶の支那人
勅ノ乗船池洋丸内に多量の彈藥を携帶せる一支那人あるを發見し渤貝勤暗殺の嫌疑者として捕縛せり（八日）

京城日報の間拔
▽鷺と鳥の取違へ

同業京城日報が半島に於る唯一の摸範新聞として又其筋の機關新聞として紙質佳良、印刷の鮮明、挿畫の多數なることは吾人の常に畏敬する所だ、更らに同社の編輯が非常に手揃ひにて常に大は政事記事より小は市井の雜事まで洩なく掲載し殊に編輯局内には朝鮮通が居られるから鮮人に關する記事を正確に報道せらるゝことも吾人の及ぶ能はざる所として敬服して居るのである、然る所へ今回朝鮮人の新貴族が出來た、機敏なる京日子は逸早くも新貴族歴訪記等を掲初められた流石は社會の耳目たるに愧ぢざる仕方である、然るに此所に本紙が京城日報の間拔と題して本記事を書くのは模範新聞にも斯う云ふ間違ひがあるとすれば今後模範として則つて善いか惡いかを京日子にうかゞひ旁々書くのである、扨前文の長いは御退屈でもあらうから愈々本文に入らんに八日發行の京日紙の第五面第二段に二號標題で大院君の愛孫李址鎔と題する記事が掲げてある、世に知られたる大院君の愛孫とは即ち雲峴宮李埈鎔君のことで李址鎔君のことではないと思つたから此奴不思議と記事の初めから終迄再三叮嚀反覆讀み直して見るゝ果せる哉京日子は李埈鎔と李址鎔と取り違へて居るのだ、尤も李址鎔とて何日か大院君の愛孫になつたのかも知れぬが先づ同記事中何うしても李埈鎔でなくてならんことは大院君が餘りに愛を傾けた爲めに王位を覬ふのおやないかと疑はれ遂に日本に亡命することを餘儀なくされたこと、次は安房の北條に閑居して居たこと、次に大院君の傑を存じて居ること、次は花柳の巷なぞに足を入れないと云ふこと、次は三十八年に歸つてからは思想が老熟して政權爭奪の圏外に超然たりしこと等である、聞く頃日京城日報は新たに操觚界の泰斗蘇峯先生が監督となられて大岡氏時代とは記事の取捨も一層正確になつた筈だ、併し本記事の如な間拔な記事が載せられたのは所謂巧手の手から水、河童も川流れ木から落ちた猿と云ふ所でがな御座らふか、然るにても大岡氏時代とて少々の間違はあつたが此樣な大間拔の間違は無つたね

●虎疫漸次終息
平壤地方に於ける虎列拉病は一時猖獗を極め人心を寒からしめたるが防疫本部の取締り頗る嚴重なると其防疫方法當を得たるとにより昨今に至りては漸次新患者減少し來れるを以て遠からず終熄するに至らんといへり尚ほ八日までに達したる初發以來の患者總數百九十七名内死亡者百四十三名にして現在僅かに五十四名となり其大多數は朝鮮人にして各地慈惠醫院又は隔離病舍に收容して治療を加へつゝあるが平壤慈惠醫院には該病に罹れる日本人三名收容され居れりと

●電話使用に注意
京城郵便局共電式の電話機に於て對話中一方の通信者一時器械の傍を離るゝ時は他の一方の通信者に其旨を通知の上附屬の交話機掛金物に交話機を掛け立去るべきに往々誤て器械の交話機掛金物に掛け引込まるゝ向きあり斯くては其都度切斷せらるゝ恐れあれば自今一層斯る事なき樣注意すべしとなり又此際附屬交話機掛金物破損し居る向は引替方を其筋に請求すべしといふ

●遣らず打奪り
中部署管内諫洞十六統四戸趙得敎（四十）は十月五日午後八時頃妻朴姓女と夫婦喧嘩を爲し朴姓女より北部署に良人趙得敎は豫て飮酒を爲し酩酊醉狂するのみならず阿片吸飮する事屢々なるに付説諭からん事を願出たるより同署に於ては本人を呼出し取調しに阿片吸飮を自白したるより告發して檢事局に送りたるが一方妻朴姓女は此の事を聞き涙乍らに警察に出頭し戀しい夫を自分から入獄せしむることも知らず説論方願出には自分の不心得に付一度丈けは許して下されと嘆願したりとは左もあるべし

●木浦丸乘客投身
去る二日午後三時木浦出帆の木浦丸が三日午前二時頃木浦より八十五哩餘の沖合鵲島附近航行の際一人の船客行衞不明となりしより一時停船して海上隈なく捜査したれども判明せず止む無く釜山へ入港し事實を水上警察へ報告したるが投身者は廣島縣加茂郡東志和村高尾勉（二五）と云ふものにて仁川より下關迄の切符を購ひし船客なりしが風体は一見

▲姙婦と博士
古建築物調査の爲め先頃來平壤に滯在中なりし關野工學博士は去る五日も早朝より栗山谷津井の兩學士を從へ牡丹臺の古建築物調査に出掛けられたが大分彼方此方と駈け廻つて少々疲勞の氣味なので歸途には今日は一つ船で鑛業所前で下り夫れから旅館へ歸ることにしやうぢやないかと恰度牡丹臺下に繫いであつた幸福丸といふ渡船に一名金二十錢宛の定めで打ち乘るとヨシ來たとばかりに頬冠り姿の棹子は中流目掛けて船を漕ぎ出して汗みづくになつて櫓を押したが船頭が苦しむ割合には一向に船が進まぬので熟々頬冠りの下から船頭を見上げると思ひきや夫れは日本女の而も落ちさうな腹を抱へた孕み女が夫の代りの俄船頭と分つたので一行も這れでは晩の十二時までかゝつても目的地に着くことはあるまいと急に心細くなり幸ひ隨行の兩學士は多少操艇の心得があつたので突如に上衣と脱ぎすてゝ孕船頭に力を添へ漸々のことに鑛業所前へ到り着いたのでホッと安心の息を吐いた博士一行顏見合はせて「アー疲勞た」とはイヤハヤ

●鮮人擾拂の捕縛
北部樓閣洞居住金鎭完（二五）が四月十七日本町三丁目丸一呉服店に於て店員の隙を窺ひ陳列品色モス二丈二尺（代三圓三十錢）を八月十七日明治町勸商場に於て辻濟吉の出品懷中燈一個（代三圓五十錢）八月二十七日丸一呉服店に於て英ネル三丈八尺（代五圓七十錢）九月五日本町三丁目圓城呉服店に於て綿ネル三丈八尺（代五圓六十錢）九月十三日本町二丁目高木時計店に於て純金指輪一個（代十六圓七十五錢）九月十九日明治町勸商場に於て靴一足（代五圓）九月二十九日丸一呉服店に於て綿ネル五丈（代七圓五十錢）九月三十日本町三丁目町田支店に於て中折帽子一個（代二圓五十錢）を窃取し入質若しくは賣却し居たる事南部署長野岸両刑事に探知され本月四日逮捕され昨八日檢事局に送らる

●徵兵違犯の處罰
熊本縣熊本市七軒町六十七番地當時大和町三丁目五十七番戸の一森繁（二二）は本年四月徵兵適齡なる事を知り本年一月熊本市役所へ該屆を提出したり依而六月十九日熊本徵兵署へ出頭す可き旨通知に接し

●逃走酌婦の喰留
福岡縣遠賀郡八幡字尾倉大橋イロ（二二）は今を距る四年前惡漢に誘拐せられて長崎市丸山附近にて酌婦に叩賣られ日毎泣きの涙にて暮すうち更に朝鮮太田の飮食店田島惣次郎方の酌婦に賣飛され憂き年月も前世の宿業と思諦めゐたりし樣なりしが去る四日米澤の袷に唐縮緬の帶を締め午前二時四十分發の南行列車に搭乘して逃走したるより直に追手を差向けると同時に下關水上署へ取押方を打電せしかば五日午後十時三十分當港入港の會下山丸の到着を待つて直に取押へられたり

●迷惑するは朝鮮
明石郡明石町の内西魚町梶りつ方抱へ藝妓神戸市旭通三丁目東畑喜作の長女藝名靜子事東畑はるゑ（二十）は兼て明石郡明石町の内相生村荒物商北爪文次（九十）とれ安からぬ仲となり居りしが兩人共例の如く借金にて頸も廻らぬ羽目に陷りしより互に明石計りに日は照らぬと靜子は三日朝晩方までに歸るとて神戸の親元へ行きしまゝ手に手を取りて何れへか雲隱れをせしかば抱主りつは大に驚き諸方を捜査せしも皆目行衞の知れざる由なるが二人の落付先きは朝鮮か大連ならんとは人の噂なるが此樣人間は當方にも入用なし

●仁川雜事
仁川宮町三丁目志路木熊太郎（三八）は平素酒癖の良からぬ男なるが一昨日午後九時半頃何處で飮んだか頗る非常に酩酊して竹園館の女浪花節を聽きに行きしが泥醉し居る事とて種々無駄口を叩き聽客の妨害になる故隣席の者が止めたるに却て惡口をなし罵詈するより遂に大勢の者に二階より突き落され左腕上に擦過傷を負たれば松本病院にて應急手當を爲したるが是れも自業自得と云ふべし ▲仁川宮町二丁目料理店一二三亭の酌婦德光キヨは道路に徘徊し同中村ハイは店頭に佇立して何れも通行人に遊興を勸めたるを以て告發せらる

●女房を捨て渡韓
原籍京都市上京區下本能寺前町當時與市和庄中通り七丁目三十四番戸寄留料理業石村儀

●繼子苛めに就て
昨紙第三面記事中「不心得な繼母と感心な繼子」と題する記事中後妻を藝妓とせし事及び其他誤聞の個所あるを以て該記事を取消す

兵衞（四三）といふは女房フクと辛抱中縮く不況の爲品むものは借錢許りにて首も廻らぬ次第となりたるより去る五日六時半飯を濟せた上一寸出てくると家出し呉驛より朝鮮へ出稼ぎするとの葉書を出し置きドロを極し此嗅より保護方願出でたりと

（前項續）たるも朝鮮に在住して當時旅費金なく歸國出來ず爲めに受驗猶豫若くは朝鮮に於て受驗手續依頼したるに既に手續期間經過し其儘になり郷里より郵便及電報にて受驗督促を受けたるにも係はらず旅費金なく歸還せず其の内郷里より金十圓送金し來りしも不足の爲め費消したるが告發せられ第一憲兵分隊中上特務に逮捕され檢事局に送られしが昨八日京城裁判所に於て罰金五圓に處せらる

商ノ体にて別に何等怪しき素振も無く警察署宛の遺書には投身する故萬一死体發見されなば同封の金三十五圓にて始末なし下されたしとのみ記しありたるのみ一切死因判明せずといふ

日曜集會（九日）

●日本基督教會（旭町四丁目）午前九時より日曜學校同十時より禮拜説敎

題 未定 大谷牧師

右終りて午後八時よりは傳道説敎

題 未定 同

●メソヂスト教會（旭町二丁目）午前九時より日曜學校及び聖書研究等あり午前十時半よりは禮拜説敎 木原牧師

秋季運動

右終りて午後七時半よりは傳道説敎に入るの提徑（其二） 同上

●同上龍山講義所 新市街電車止井出商店隣りにて午後七時半より傳道説敎

題 未定 會田嘉伊智君

●京城基督敎會（日の出町）午前九時より日曜學校同十時より禮拜説敎

題 未定 丹羽清次郎氏

右終りて午後八時よりは傳道説敎

題 未定 宗像鴨四郎氏

●臨濟寺の微笑會（初音町）例に依り圓山太嶺禪師の無盡燈論提唱ありと

目と耳（九日の分）

▲壽座 藝題は『軍用氣球』役割如左 工夫長新五郎 泉）樺島大佐（稻葉）木下中尉（井上）櫻田軍曹（橋本）惡漢權七（日東）浦部初子（西井）從卒田村（富永）資田與三（大町）小田原少尉（乙羽）令孃留子（資井）早川公證人（堤）魚屋佐介（中島）夫人道子（藤島）荒川大尉（藤野）工夫辰吉（北野）田與一（北村）

▲歌舞伎座 曾我の家一座其他の合同劇狂言は『備の銘刀』外喜劇一場

▲浪花館 如雲一座は大喝采の内に五日限り打揚げたるが代りは大阪千歳活動寫眞にして重なる映畫左の如し 關東大洪水慘状、舊劇安達原三段目、秩袖祭文の場淨瑠璃入、伊勢大廟宇治橋渡橋式の盛典、二見浦日の出光景、此他餘興數十種（二十錢均一）

▲露國大曲馬 明治町東拓敷地假小屋に於ける露國人「パローフスキー」

千日の運勢

●十月九日舊九月六日八白 友引丁未納△一白類行み易き日起業開店婚談旅行△二黑借金談に忌む△二黑易人のため損害を受け易き親族のためには世話事多き日とす△三碧旅行事

●新事見合せの事總じて實効擧らざる日なり△四綠不得要領の日新事相談締約貸借金談談議無効農林業に吉△五黃業務上失念疎漏生じ易し其他平凡△六白收利あり商旅行開店起業婚談委囑相談に吉△七赤契約談合共同組合に吉總じて盛運の日△八白新事見合せの事保證受印を禁ず遺失横領防ぐべし△九紫隆升榮運の日大凡吉新事旅行宜しからず

●十月十日舊九月七日七赤先負戊申關敬日△一白旅行起業開店婚談礦業に吉委囑相談謀議に忌む△二黑誘引推奬の事斥くべし其他快欣の日大凡吉△三碧取引賣買金品授受故障起らんとす不動產上の事及婚談連体共同組合の事に忌む△四綠新事旅行見合せの事貿買取引貸借上妄言多き日なり横領盜難防ぐべし△五黃保證引受を禁ず貸借金談間違多し其他平凡△六白起業開店披露旅行に忌む其他進んで吉△七赤新事見合の事婚談契約相談謀議の事効無し△八白巳を努して人の益となる事あり恩を施し仇を報せらるゝ事あり△九紫新事旅行凶貸借金談委囑謀議婚談無効（本町五丁目三一館判斷）

●天氣豫報（自八日午後六時至九日午後六時）

北西風曇後晴

七日（華氏）最高温度 七二、三 最低温度 五九、〇

移轉廣告

從來南山町三丁目に於て裁縫割烹の教授罷在候處生徒の増加と共に教場手狹と相成り萬事に不便不尠候間今回肩書の處に移轉仕候此段謹告候也
尚新教場は理想的設備をなし益々斯業に勉勵仕候間此際入學御希望の方は何時にても教則等送呈可仕候尤も二錢郵券添付御申込被下度候

京城大平町二丁目（神田組前）
裁縫割烹教授所
野村サワ

定期米

賣 ㋮ 買

仁川米豆取引所仲買人
仁川本町四丁目佐藤病院隣
廣澤正次郎
電話一七〇番

最上醤油

特約販賣
仁川京城
高雄支店

開店一週年に付
破額廉價大賣出し
九月廿八日より

本場秩父縞

縞類 五圓
絣類 五圓五十錢
甲斐絹 尺二十錢
均一

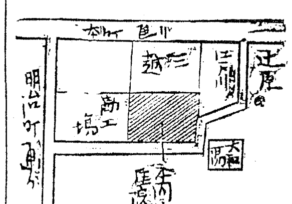
其他特製珍柄澤山取揃申候

京城明治町一丁目
秩父屋 關根出張店
（電話四三）

英國 ニユージーランド（火災海上）保險株式會社

創立 西暦紀元千八百五十九年（邦暦安政六年）
資本金 一千五百万圓也
準備積立金 四百四十五萬圓也
支拂保險額 七千五百三十二萬圓也
日本に於ける放資金 日本帝國五歩利付公債十萬圓也

日本及滿洲總支店 横濱市山下町百六十七番
支店 東京、神戸、大阪
朝鮮代理店
京城水樂町二丁目十六番邸
東京 藤原商店京城支店
電話一八九番



醫院開業
十月一日より
産婦人科專門
入院隨意
○京城明治町一丁目三越社宅跡
本間産科婦人科醫院
院長 醫學士 本間健兒

蜂印香竄葡萄酒

本品は日本の標準葡萄酒として内外大博覽會より二十四個の金銀賞牌を受領せり



東京 近藤利兵衛



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島専藏
（電話四百十二番）

總督府御制服調進

弊店は鮮土に於ける洋服業の開祖として將又卒先者として斯道の奬勵に努め汲々營々爰に十七年の星霜を閲するに至り弊店の調製服に對して世既に定評あり就中御制服は弊店の最も得意とする所諸官衙を始め殊に韓皇陛下時代より今日の李王殿下御一族の御用は依然として特定せられ居り弊店の光榮と致す所に御座候今回英國に注文致置候制服地等今回多数到着仕候に付誠意熱心に御調製可仕候に付何卒御用命の程奉希上候
敬白

京城光化門通
朝鮮各殿下 諸官衙 御用
淺田洋服店
大島専藏
電話長四一二

平壤大和町
淺田洋服店出張所
電話長四一三



陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌所
土管煉瓦販賣元

東京建物株式會社は派出所新設し左の營業開始す
東京建物株式會社は東京市日本橋區呉服町にあり
東京建物株式會社現在の資本金高は五百萬圓なり
東京建物株式會社派出所は京城旭町二丁目にあり
東京建物株式會社は土地建物を抵當に貸金をなす
東京建物株式會社は土地建物賣買及紹介をもなす
東京建物株式會社は月賦償却にて建物建築をなす

牛馬犬猫
入院隨意
治療所
京城明治町三丁目（電話四二七番）
小川家畜醫院
院長 小川龜太郎

胃腸新藥 タカヂアスターゼ
滋養劑 グリコナール錠
暖和下劑 カスカラ糖衣錠
其他各種藥品

發賣元
東京市 三共合資會社

朝鮮總代理店
仁川 竹田津三平

營業科目

諸官衙御用

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

發賣販賣
東京 ランバート商會代理店
東京 中外アスフアルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
[illegible]

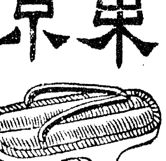
藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京築地新橋三六九二

入齒 補齒 堂
京城水票橋通り二丁目
永井改作

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金五百萬圓
出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）

東京足袋



正札付大安賣 釐毛引なし 安心して買へ升

本店 東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

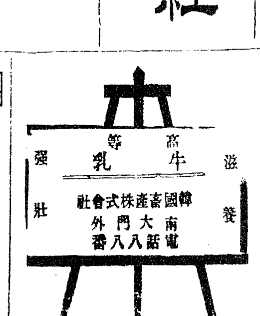
古家屋、賣買、新古材木並トタン板、雨戸、障子類一式
其他建築材料一切
古着、古道具、諸雜貨
京城本町七丁目京城座前
建築材料店 五十
電話一千四百二十四番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

會席料理
大勉強
京城永樂町三丁目
酒道樂
電話一二七六番

弦齋流割烹
すゞ森
南山町一丁目
電話千五百二番

古着、古道具
諸雜貨、疊建具
賣買處
京城永樂町二丁目
五十競賣所
電話一四〇七番



芙江公州間出帆廣告
芙江發 毎日後一時（京城方面ヨリ急行接續）
公州發 毎日前七時（京城方面行急行接續）
（荷客共御取扱可申候）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店へ御尋被下度候

月串、甕津、海州行
汽船 天草丸 安來丸 成歡丸
瀛船出港廣告
隔日出港
仁川港海岸通（電話四一九）
柴田回漕店